

Information

第16回医療福祉連携士の会 研修会

入退院センター構築と地域連携 Part.3

日時▶10月20日(日)13:00~17:00

会場▶日本医科大学教育棟2階講堂(東京都文京区)

テーマ▶入退院支援を科学する

プログラム▶基調講演1「入院医療に関する調査結果」小塩真史(厚生労働省保険局医療課)／基調講演2「医療の質と経営の質の向上を目指して―入退院支援センターの役割」西澤延宏(JA長野厚生連佐久総合病院)／対談「入退院支援の成果をどう測るか」小塩真史、西澤延宏／講演1「2019.3.23 調査結果」下村裕見子(北里大学大学院)／「入退院支援室における医師事務作業補助者の役割」恵星まどか(JA長野厚生連佐久医療センター)／「入退院支援センターの建築構想について」十河浩史(倉敷中央病院)

参加費▶事前申込4000円(会員・医療福祉連携士2000円)、当日申込5000円(会員・医療福祉連携士3000円)

※当日集金する

定員▶先着150名

申込方法▶下記WEBサイトの申込フォームより

申込締切▶9月25日(水)

問い合わせ先▶事務局担当 小林正和

☎ office@renkeishi.com

☎ 090-7411-7048

<https://www.renkeishi.com/>

第2回PXフォーラム

日時▶11月2日(土)11:00~17:30

会場▶秋葉原 UDX Theater room(東京都千代田区)

プログラム▶講演1「PX概論と海外・日本の取り組み状況」曾我香織(日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会)／講演2「日本版PXサーベイの分析手法」斎藤恵一(国際医療福祉大学)／講演3「PX養成講座概要」安藤潔(日本ペイ

シェント・エクスペリエンス研究会、東海大学)／講演4「PX養成講座に参加して」松本卓(大宮在宅クリニック)、濱田浩美(北海道大学)／パネルディスカッション1「急性期病院におけるPXサーベイ実施時のポイントと有用性とは」安藤潔、西本祐子(国立病院機構九州医療センター)、引田紅花(前橋赤十字病院)、古川幸治(稲波脊椎・関節病院)／パネルディスカッション2「患者にとってPXとは何か」安藤潔、花木裕介(ティーベック)、藤井弘子(日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会)／事例紹介「40病院におけるHCAHPS実施事例」後藤俊男(日本ホスピタルアライアンス)／「急性期病院における日本版PXサーベイ実施と改善事例①」西本祐子／「急性期病院における日本版PXサーベイ実施と改善事例②」引田紅花／「急性期病院における日本版PXサーベイ実施と改善事例③」iPadを用いて古川幸治／「在宅医療におけるPXサーベイ実施事例①」講内源太(いわきケアフォレスト訪問看護ステーションアクティホーム)／「在宅医療におけるPXサーベイ実施事例②」コーチングを用いたPX改善 齋藤真之(こばやし歯科クリニック)／ランチョンセミナー「医療マネジメントにおけるPXの重要性」真野俊樹(中央大学)ほか

対象▶医療従事者、ヘルスケア関連企業関係者など

参加費▶会員(個人・法人)6500円、一般9000円

申込方法▶下記ホームページの申込フォームより

問い合わせ先▶日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会

☎ info@pxj.or.jp

<https://www.pxj.or.jp/pxforum-2019/>

第57回日本医療・ 病院管理学会学術総会

日時▶11月2日(土)~4日(月・祝)

会場▶朱鷺メッセ(新潟市)

テーマ▶持続可能な地域医療を支える医療・病院管理学

プログラム▶特別講演1「医療と介護のこ

れから」眞鍋馨(厚生労働省)／2「佐久総合病院の分割再構築と今後の課題」伊澤敏(佐久総合病院)／3「人口減少に適合した医療・介護の方向性：ケア・コンパクト・シティ構想」小黒一正(法政大学)／「地域医療連携推進法人を含む医療政策の最近の動向について」天辰優太(厚生労働省)／メインシンポジウムI「高齢社会とこれからの医療もおける質の評価」／II「予防からみた持続可能な自治体の在り方と医療の役割」／第57回学術総会特別企画「地域経済循環分析からみた医療の役割」／シンポジウム1「持続可能な地域医療を支える『事業承継』」／2「病院機能評価を巡る新たなステージ【今、改めて問う：サーベイの質・サーベイヤーの質】」／ほか

[市民公開講座] 11月2日14:00~17:30
定員500名

講演1「スマートウェルネスみつけの実現を目指して」久住時男(新潟県見附市)／2「医師の働き方改革と地域医療について」丸山明則(新潟県医師会)／3「世界の病院の動向から考えるこれからの医療」寛淳夫(日本医療・病院管理学会)／③奈良時代の働き方改革 馬場基(奈良文化財研究所)／パネルディスカッション「これからの働き方と健康づくり、そして医療の役割」

参加費▶会員1万円、第57回学術総会関係者等1万円、学生(社会人学生除く)・海外からの参加者5000円、上記以外1万5000円

※詳細は下記ホームページより

問い合わせ先▶運営事務局

〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101 学会サービス内

☎ 03-3496-6950

FAX 03-3496-2150

☎ jsha57@gakkai.co.jp

<http://www.gakkai.co.jp/jsha57/index.php>

木村看護教育振興財団 2019年度東京講演会

日時▶11月9日(土)13:30~17:30

会場▶新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール
(東京都千代田区)

テーマ▶未来を拓く 看護の力ー 2025 年以降の超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と注目事例

プログラム▶講演 1「超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と看護への期待」石川ベンジャミン光一(国際医療福祉大学)／2「Education and Professional Development」Dawn E. Nelson, MSN, RN, Nurse Administrator／3 平原優美(日本訪問看護財団兼同財団あすか山訪問看護ステーション)／4 杉町圭蔵(遠賀中間医師会おんが病院・おかざき病院), 亀石千鶴(同医師会おんが病院)／5 本間之夫(日本赤十字社医療センター), 正源寺美穂(金沢大学医薬保健研究域老年・リハビリテーション看護学分野)／パネルディスカッション「超高齢社会における医療・看護・介護ニーズへの対応と看護への期待」

定員▶400 名

問い合わせ先▶木村看護教育振興財団事務局 小村志津乃, 中川玲子, 小川美生
〒133-0033 東京都文京区本郷 5-25-14-8F

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

<http://www.nurseed.jp/>

日本伝統医療看護連携学会 第 1 回設立記念大会

日時▶12 月 18 日(水)

会場▶仙台赤門短期大学(仙台市)

プログラム▶特別講演 1「東洋医学の再発見ー医療連携の可能性」矢野忠(明治国際医療大学)／2「(仮)統合医療と鍼灸マッサージ」谷口初美(九州大学大学院)／シンポジウム「医療連携の未来を拓くー融和」／ほか

参加費▶[事前参加登録] 会員 5000 円, 非会員 6000 円, [当日参加登録] 会員 6000 円, 非会員 7000 円, 学生 2000 円, 懇親会費 5000 円

事前参加登録方法▶下記ホームページの事

前参加登録フォームより

事前参加登録締切▶11 月 30 日(土)

問い合わせ先▶学術集会事務局

〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町

1-6-7 赤門鍼灸柔整専門学校内

☎ 022-217-7065

FAX 022-266-9950

<https://jstn-am.jimdofree.com/>